

6月4日（水）那智勝浦町集会・2025年原水爆禁止国民平和大道進 日本政府は禁止条約の署名・批准を!!



那智勝浦町平和行進



司会進行増田弘さん 地元代表玉石晃久さん

6月4日（水）平和行進は、那智勝浦町です。集会前に増田弘新宮東牟婁原水協事務局長と県事務局で、総務課と議会事務局を訪問し、町長、議長からのペナントと協賛金を頂きました。

午後5時15分、町庁舎前で出発集会が始まります。増田弘さんが進行します。最初、那智勝浦町平和行進実行委員会玉石晃久さんの地元代表の挨拶です。「世界ではやウクライナやガザでの戦争が終わりません。先が見えない状況です。核兵器の恐怖が大きくなるばかりです。そのような中で、世界各地でストップ戦争、国連憲章守れ、核兵器なくせの声が広がっています。昨年12月日本被団協がノーベル平和賞を受賞し、世界中で核兵器廃絶に注目が集まりました。今年はヒロシマ、ナガサキの被爆から80年を迎えます。ノーベル平和賞の受賞は核廃絶の事業を世界が評価し、後押しをするものになっています。」

次に、那智勝浦町堀順一郎町長のメッセージが紹介されます。「我が国は戦後80年の節目の年を迎えます。そしてこの80年という歳月を経て、今日の平和と繁栄を築き上げてきました。しかしながら国民の平和の願いも空しく、以前ウクライナへのロシアの軍事進攻は長引き、世界各地においても紛争が絶えることがなく本当に残念でなりません。次世代を担う子どもたちのためにも、恒久平和の構築のために世界各国の協調と調整が強く求められています。」と田中総務課長が代読します。

県実行委員会からは、今日までのべ820人の方々がこの平和行進に参加している事、また那智勝浦町では数十隻のビキニ被災マグロ漁船があった事を報告しました。次にわかやま市民生協の山本力羽さんが決意表明です。最後、地元の和教組の岩崎さんが集会アピールを読み上げます。平和行進の出発です。役場から勝浦港まで歩き、再び商店街を通り役場へと戻ってきました。（集会参加20人）。6月5日は、和歌山県最後となる平和行進です。北山村、新宮市です。 県事務局